

J-クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成27年11月16日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	鋼板加工工場における照明設備の更新プロジェクト
承認番号	KC1399
排出削減事業者名	大阪スチール株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名:なし)
事業実施場所	大阪スチール株式会社 本社工場 (京都府八幡市川口擬宝珠6-5)
事業の概要	工場で使用している既設の水銀灯をLED照明設備に更新することで、電力使用量を低減し、二酸化炭素排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012年度: 10 tCO <sub>2</sub> 2013年度: 67 tCO <sub>2</sub> 2014年度: 60 tCO <sub>2</sub> 2015年度: 55 tCO <sub>2</sub> 2016年度: 53 tCO <sub>2</sub> 2017年度: 45 tCO <sub>2</sub> (事業実施期間合計:290 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	開始日 2013 年2月7日 終了予定日 2018 年2月6日
排出削減方法論	方法論番号006: 照明設備の更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日(第 2 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正であることを確認した。

排出削減量	188 tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2015年3月31日)
-------	---

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 対象期間中の設備稼働の確認 導入された設備が稼働していることを、使用実態等の排出削減事業者への質問と、照明設備稼働記録（作業時間記録）で確認した。 3) その他、承認排出削減事業計画から重要な変更がない事を確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 排出削減事業者への質問により、承認排出削減計画に沿ってモニタリングが実施され、活動実態に大きな変動のないことを確認した。 2) 活動量の正確性 活動量の記載が適切・正確であることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等がJ-クレジット制度モニタリング・算定規程への記載（Ver. 2.2 別表）に従っている事を確認した。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果は適切であることを確認した。

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

#### 6. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算で86.4k1であることを確認した。

以上